

みなさんにご存じでしょうか？ 磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチON磯子）

磯子区に暮らすすべての人が、自分らしく健やかに暮らせる地域社会にしていくための取り組みを定めた計画です

●なぜ計画が必要？ 少子高齢化や地域のつながりの希薄化などの社会情勢の変化により、子育てのしづらさや社会的孤立など、地域における課題は多様化しています。人と人・地域・団体、公的機関とつながることで、いざというときの支えあい・助けあいや、必要な支援が届く仕組みづくりを進める必要があるため、計画を策定・推進しています。

3月4日(火)に磯子公会堂で開催されたスイッチON磯子地区別発表会で発表した「上笹下地区の第4期の具体的な取り組み」を紹介します

発表者・金子連合町内会会長／スイッチON磯子地区推進協議会長
・大蔵連合副会長／スイッチON磯子地区推進協議会副会長
・迫田連合町内会副会長 ・佐野地区社協事務局長



第1期 平成18年～22年度

第2期 平成23年～27年度

第3期 平成28年～令和2年度

第4期 令和3年～7年度

第5期 令和8年～12年度

上笹下地区 第4期の目標～自然とともにつながりのあるまち上笹下～

- 魅力** 地区にある自然・歴史等の魅力を再発見し、地域づくりに生かします
- 連携** 既存の活動(夏祭りなど)を各自治町内会や各種団体が協力しながら進めます
- 地域参加** 誰もが得意なことで少しずつ活動が始められる雰囲気を作ります

6月21日(土)、上笹下の第4期の計画の推進・振り返りについて意見交換を行いました。秋に第5期の計画の策定会議、12月には計画案が確定します。

魅力

歴史の魅力を再発見 六ヶ町めぐりスタンプラリー上笹下にある6つの神社を周る 第2回2025年3月16日(日)開催は雨天中止になりました

- ・2023年度から開始した新しい事業
- ・上笹下地区にある6つの神社を半日で周る
- ・各神社ではスタンプをもらうとともに、由緒にまつわるお話を聴く



上笹下は神社を中心に六ヶ町として発展した地域



上中里地区センターを 出発・ゴール
ゴールしたら採れたての野菜がご褒美でした♪



←峰白山神社途中のタブノキ 樹齢320年横浜市名木古木指定



スタンプ押印中→

連携 各種団体との連携 土とのふれあい

- ・社協に集っている各種団体が結集して、助け合える地域にすることを模索
- ・地域に農業専用地区があり、畑を貸してくださる方がいた
- ・畝づくり→苗植え→雑草取り→蔓上げ→収穫祭と春から秋にかけての大事業

春

夏

秋

- ・コロナ禍が明け、人数制限をかけた収穫作業のみから再開
- ・20回記念の昨年は、選挙があり企画していた会食を断念

・コロナ禍前には、収穫したサツマイモを使ったイモご飯、豚汁も好評

畑から神社にイモを運んで

豚汁調理中

運営メンバーは、地区社協役員を中心に
・民生委員児童委員・スポーツ推進委員・青少年指導員・保健活動推進員・日赤奉仕団・(連合子供会)

●2007年からは「スイッチON磯子上笹下地区推進協議会」との共催

連携 各種団体との連携 地域参加

わいわい食堂

主催:氷取沢地区子ども食堂運営委員会

2025年は4月～9月は第4金曜日17:00～18:30
10月～3月は土曜日開催で12:00～13:30
参加費は、中学以下は無料、高校生100円、大人300円
大人も参加できます。日頃一人で食事をされている方、興味がある方もどうぞ。大勢と一緒に食べると美味しいですよ！(会場は上笹下地域ケアプラザでメニューはカレー)

- ・学援隊(登下校の見守りボランティア)のメンバーが、夕方になっても家に帰らない子どもを心配して、子ども食堂をやりたいとケアプラザに相談したことがきっかけ
- ・氷取沢地区の4自治会の会長、民生委員、学援隊のメンバーが集まって話し合い、2017年9月より月1回子ども食堂を開催

お手伝い、随時募集中



- ・以前参加していた中学生が大学生になり、スタッフに！
- ・未就学児のお母さんだった方が、「子どもが大きくなったので手伝えます！」
- ・2024年から対象地域を拡大した「わいわい食堂」として再開



地域参加 誰もが始められる雰囲気づくり 栗木おひな様の会 栗木神社

- ・2020年3月から有志「おひな様の会」が「栗木ひな祭り」を開催
- ・第1回は25セットのおひな様から始まりました
- ・ひな人形の数は毎年増加(現在は受け入れしていない) 2020年350体→2022年500体→2024年1000体



↑拝殿の周りや神社の入口にも人形が→

- ・昨年は来場者が約3000名
- ・周辺からもたくさんの方が見に来られます
- ・すっかり、地域の風物詩として定着しました



- ・「人形を運ぶだけなら」「この時間だけなら」と手伝ってくださる方が増えてきて会員も30名になりました
- ・今までこのような活動をしたことがない方や若い人たちが、無理のない範囲で自分のできる時に、できることをちょっとお手伝い、顔見知りになって会員となっていき、そして他の活動にも参加するという繋がりもできてきました

ひな人形と記念撮影